IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re the Application of

Inventors:

Kenichi MIYOSHI, et al.

Application No.:

New PCT National Stage Application

Filed:

February 25, 2002

For:

MOBILE COMMUNICATION SYSTEM

CLAIM FOR PRIORITY

Assistant Commissioner of Patents Washington, D.C. 20231

Dear Sir:

The benefit of the filing date of the following prior foreign application filed in the following foreign country is hereby requested for the above-identified application and the priority provided in 35 USC 119 is hereby claimed:

Japanese Appln. No. 2000/232268, filed June 26, 2000 and Japanese Appln. No. 2000/204222, filed July 5, 2000.

The International Bureau received the priority document within the time limit, as evidenced by the attached copy of the PCT/IB/304.

It is requested that the file of this application be marked to indicate that the requirements of 35 USC 119 have been fulfilled and that the Patent and Trademark Office kindly acknowledge receipt of this document.

Respectfully submitted,

Date: February 25, 2002

James E. Ledbetter Registration No. 28,732

JEL/spp

Attorney Docket No. <u>L9289.02126</u>

STEVENS DAVIS, MILLER & MOSHER, L.L.P. 1615 L STREET, NW, Suite 850 P.O. Box 34387 WASHINGTON, DC 20043-4387

Telephone: (202) 785-0100 Facsimile: (202) 408-5200 RECEIVED

OCT 2 2, 2001

PCT

WASHIDA & ASSOCIATES(2) |
NOTIFICATION CONCERNING
SUBMISSION OR TRANSMITTAL
OF PRIORITY DOCUMENT

(PCT Administrative Instructions, Section 411)

From the INTERNATIONAL BUREAU

10

WASHIDA, Kimihito 5th Floor, Shintoshicenter Bldg. 24-1, Tsurumaki 1-chome Tama-shi, Tokyo 206-0034 JAPON

| 11 October 2001 (11.10.01) | my Marine 1 (4) is a few more my continue many constraints |
|---|--|
| Applicant's or agent's file reference 2F01060-PCT | IMPORTANT NOTIFICATION |
| International application No. | International filing date (day/month/year) |
| PCT/JP01/05395 | 25 June 2001 (25.06.01) |
| International publication date (day/month/year) | Priority date (day/month/year) |
| Not yet published | 26 June 2000 (26.06.00) |

MATSUSHITA ELECTRIC INDUSTRIAL CO., LTD. et al

- The applicant is hereby notified of the date of receipt (except where the letters "NR" appear in the right-hand column) by the
 International Bureau of the priority document(s) relating to the earlier application(s) indicated below. Unless otherwise
 indicated by an asterisk appearing next to a date of receipt, or by the letters "NR", in the right-hand column, the priority
 document concerned was submitted or transmitted to the International Bureau in compliance with Rule 17.1(a) or (b).
- 2. This updates and replaces any previously issued notification concerning submission or transmittal of priority documents.
- 3. An asterisk(*) appearing next to a date of receipt, in the right-hand column, denotes a priority document submitted or transmitted to the International Bureau but not in compliance with Rule 17.1(a) or (b). In such a case, the attention of the applicant is directed to Rule 17.1(c) which provides that no designated Office may disregard the priority claim concerned before giving the applicant an opportunity, upon entry into the national phase, to furnish the priority document within a time limit which is reasonable under the circumstances.
- 4. The letters "NR" appearing in the right-hand column denote a priority document which was not received by the International Bureau or which the applicant did not request the receiving Office to prepare and transmit to the International Bureau, as provided by Rule 17.1(a) or (b), respectively. In such a case, the attention of the applicant is directed to Rule 17.1(c) which provides that no designated Office may disregard the priority claim concerned before giving the applicant an opportunity, upon entry into the national phase, to furnish the priority document within a time limit which is reasonable under the circumstances.

| <u>Priority date</u> | Priority application No. | Country or regional Office or PCT receiving Office | Date of receipt of priority document |
|-------------------------|--------------------------|---|--------------------------------------|
| 26 June 2000 (26.06.00) | 2000-232268 | JP | 10 Augu 2001 (10.08.01) |
| 05 July 2000 (05.07.00) | 2000-204222 | JP | 10 Augu 2001 (10.08.01) |

The International Bureau of WIPO 34, chemin des Colombettes 1211 Geneva 20, Switzerland Authorized officer

Somsak THIPHRAKESONE

Facsimile No. (41-22) 740.14.35 Telephone No. (41-22) 338.83.38





国際調査報告

(法8条、法施行規則第40、41条) [PCT18条、PCT規則43、44]

| 出願人又は代理人 の書類記号 2F01060-PCT | 今後の手続きについては、国際調査報告の送付通知様式(PCT/ISA/220) 及び下記5を参照すること。 | | | | | |
|--|---|--|--|--|--|--|
| 国際出願番号 PCT/JP01/05395 | 国際出願日 (日.月.年) 25.06.01 優先日 (日.月.年) 26.06.00 | | | | | |
| 出願人(氏名又は名称) 松下電器産業株式会社 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | 国際調査機関が作成したこの国際調査報告を法施行規則第41条(PCT18条)の規定に従い出願人に送付する。 この写しは国際事務局にも送付される。 | | | | | |
| この国際調査報告は、全部で 2 | <i>ページ</i> である。 | | | | | |
| □ この調査報告に引用された先行 | 支術文献の写しも添付されている。 | | | | | |
| 1. 国際調査報告の基礎 a. 言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願がされたものに基づき国際調査を行った。 「この国際調査機関に提出された国際出願の翻訳文に基づき国際調査を行った。 | | | | | | |
| b. この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでおり、次の配列表に基づき国際調査を行った。 □ この国際出願に含まれる書面による配列表 | | | | | | |
| この国際出願と共に提出さ | れたフレキシブルディスクによる配列表 | | | | | |
| □出願後に、この国際調査機 | 関に提出された書面による配列表 | | | | | |
| 出願後に、この国際調査機 | □ 出願後に、この国際調査機関に提出されたフレキシブルディスクによる配列表□ 出願後に提出した書面による配列表が出願時における国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述 | | | | | |
| 書の提出があった。 | | | | | | |
| ■ 書面による配列表に記載した配列とフレキシブルディスクによる配列表に記録した配列が同一である旨の陳述書の提出があった。 | | | | | | |
| 2. | ができない(第I欄参照)。 | | | | | |
| 3. | ハる(第Ⅱ欄参照)。 | | | | | |
| 4. 発明の名称は 🛛 🗓 出 | 頼人が提出したものを承認する。 | | | | | |
| □ 次 | に示すように国際調査機関が作成した。 | | | | | |
| 0. 2.0 | 願人が提出したものを承認する。 | | | | | |
| <u> </u> | Ⅲ欄に示されているように、法施行規則第47条(PCT規則38.2(b))の規定により 際調査機関が作成した。出願人は、この国際調査報告の発送の日から1カ月以内にこ 国際調査機関に意見を提出することができる。 | | | | | |
| 6. 要約費とともに公表される図は 第 <u>3</u> 図とする。 図 出 | 、 願人が示したとおりである。 | | | | | |
| | 願人は図を示さなかった。 | | | | | |
| _ | 図は発明の特徴を一層よく表している。 | | | | | |

様式PCT/ISA/210 (第1ページ) (1998年7月)

| B. 関連を行った分野 (国際特許分類 (IPC)) | A. 発明の属する分野の分類(国際特許分類(IPC)) | | | | |
|--|---|-------------------|-------------|--|--|
| 関連を行った最小取取料 (国際特許分類 (1 PC)) | | | | | |
| 関連を行った最小取取料 (国際特許分類 (IPC)) Int.C1 | | | | | |
| 関連を行った最小取取料 (国際特許分類 (IPC)) Int.C1 | · | | | | |
| 日 n t . C l ' H0 4 Q 7 / 0 0 − 7 / 3 8 H0 4 B 7 / 2 4 − 7 / 2 6 | | | | | |
| 最小 | Int. Cl ⁷ H04Q7/00-7/38 | | | | |
| 日本国東州新衆公韓 1971-2001年 日本国登録実用新案公報 1971-2001年 日本国妻別新家登録公報 1994-2001年 日本国妻別新家登録公報 1996-2001年 日本国書書 1990 (77-200-200-200-200-200-200-200-200-200-2 | H04B7/24-7/26 | • | | | |
| 日本国東州新衆公韓 1971-2001年 日本国登録実用新案公報 1971-2001年 日本国妻別新家登録公報 1994-2001年 日本国妻別新家登録公報 1996-2001年 日本国書書 1990 (77-200-200-200-200-200-200-200-200-200-2 | | | | | |
| 日本国企働実用新案公報 1971-2001年 日本国登録実用新案公報 1994-2001年 日東田南野素登録公報 1996-2001年 日東田南野素登録公報 1996-2001年 日東田南野東登録公報 1996-2001年 日東田南東京都東登録公報 1996-2001年 日東田南東京都 1996-2001年 日東田南東京都 2世紀かられる文献 | l' | | | | |
| 日本国発展集用新案登録公報 1996-2001年 日本国実用新案登録公報 1996-2001年 日際調査で使用した電子データベース(データベースの名称、調査に使用した用語) C. 関連すると認められる文献 引用文献のカテゴリー* | Let Example 11 | • | | | |
| | 日本国登録実用新案公報 1994-2001年 | | | | |
| C. 関連すると認められる文献 | | | | | |
| 3 用文献の カテゴリー* 3 用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示 3 用文献の | 国際調査で使用した電子データベース(データベースの名称、 | 調査に使用した用語) | | | |
| 3 用文献の カテゴリー* 3 用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示 3 用文献の | , | | , | | |
| 3 用文献の カテゴリー* 3 用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示 3 用文献の | - | | | | |
| 3 用文献の カテゴリー* 3 用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示 3 用文献の | C. 関連すると認められる文献 | | | | |
| A JP 2-274131 A (株式会社東芝) 8.11月.1990 (08.11.90) (ファミリーなし) A JP 1-289324 A (富士通株式会社) 21.11月.1989 (21.11.89) (ファミリーなし) (ファミリーに関する別紙を参照。 (エリーの後に公表された文献であって、当の後に公表された文献であって、当の後に公表された文献であって、上順と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論 の選挙的なたのと同う用するもの (大学に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの 「大学に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの「後」同一パテントファミリー文献 国際調査を完了した日 12.09.01 国際調査報告の発送日 25.09.01 特許庁審査官 (権限のある職員) (本学科学のより、正志・大学を報告の発送日 25.09.01 | 引用文献の | ときけ、その関連する第所の表示 | | | |
| 8. 11月. 1990 (08. 11. 90) (ファミリーなし) A JP 1-289324 A (富士通株式会社) 21. 11月. 1989 (21. 11. 89) (ファミリーなし) * 引用文献のカテゴリー 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの 「E」国際出願目前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表された文献であって、出願と先后も後に公表されたもの「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用するもの「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの「Y」時に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの「P」国際出願目前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願「&」同一パテントファミリー文献 国際調査を完了した日 国際調査機関の名称及びあて先日本国特許庁(ISA/JP) 事便番号100-8915 | A / Ht - t- | | | | |
| ファミリーなし | | | 1,10 | | |
| □ C欄の続きにも文献が列挙されている。 | 1 | · - · | | | |
| □ C欄の続きにも文献が列挙されている。 | | | | | |
| (ファミリーなし) □ C欄の続きにも文献が列挙されている。 * 引用文献のカテゴリー 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献(理由を付す) 「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願「V」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの「Q」同一パテントファミリー文献 国際調査を完了した日 国際調査報告の発送日 25.09.01 国際調査機関の名称及びあて先 日本国特許庁(ISA/JP) 郵便番号100-8915 | | 1-15 | | | |
| □ C欄の続きにも文献が列挙されている。 □ パテントファミリーに関する別紙を参照。 * 引用文献のカテゴリー 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の策健性又は進歩性がないと考えられるもの「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願「&」同一パテントファミリー文献 国際調査機関の名称及びあて先 日本国特許庁(ISA/JP) 郵便番号100-8915 | 1 | 1. 03) | | | |
| * 引用文献のカテゴリー 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用するな文献(理由を付す) 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願 「B、国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願 「E、国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの「&」同一パテントファミリー文献 「B、関語を提問の名称及びあて先日本国特許庁(ISA/JP) 「A、関連の表の基準を発送日 25.09.01 「A」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性である文献であって、当該文献のみで発明の新規性である文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの「&」同一パテントファミリー文献 「B、関語を報告の発送日 25.09.01 | | | ; | | |
| * 引用文献のカテゴリー 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用するな文献(担他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用するな文献(可)による開示、使用、展示等に言及する文献「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願 「B、国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願」 「A」特に関連のある文献であって、対象文献の思理又は理論の理解のために引用するもの「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの「&」同一パテントファミリー文献 「B、関連の名称及びあて先日本国特許庁(ISA/JP) 「A、日本国特許庁(ISA/JP) 「本国特許庁(ISA/JP) 「本国特許庁本意を記述された文献である文献である文献である文献である文献である文献である文献である文献である | | , | | | |
| * 引用文献のカテゴリー 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用するな文献(担他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用するな文献(可)による開示、使用、展示等に言及する文献「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願 「B、国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願」 「A」特に関連のある文献であって、対象文献の思理又は理論の理解のために引用するもの「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの「&」同一パテントファミリー文献 「B、関連の名称及びあて先日本国特許庁(ISA/JP) 「A、日本国特許庁(ISA/JP) 「本国特許庁(ISA/JP) 「本国特許庁本意を記述された文献である文献である文献である文献である文献である文献である文献である文献である | | | | | |
| * 引用文献のカテゴリー 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用するな文献(担他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用するな文献(可)による開示、使用、展示等に言及する文献「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願 「B、国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願」 「A」特に関連のある文献であって、対象文献の思理又は理論の理解のために引用するもの「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの「&」同一パテントファミリー文献 「B、関連の名称及びあて先日本国特許庁(ISA/JP) 「A、日本国特許庁(ISA/JP) 「本国特許庁(ISA/JP) 「本国特許庁本意を記述された文献である文献である文献である文献である文献である文献である文献である文献である | | □ パテントファミⅡーに関する別 | 紙を参照。 | | |
| 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの 「E」国際出願目前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献(理由を付す) 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願 「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願 「R」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの「&」同一パテントファミリー文献 「B際調査報告の発送日 25.09.01 「基際調査機関の名称及びあて先日本国特許庁(ISA/JP) 第便番号100-8915 | し し | | 14FC & 1110 | | |
| 日の | | | | | |
| 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献(理由を付す) 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願「&」同一パテントファミリー文献 国際調査を完了した日 12.09.01 国際調査機関の名称及びあて先日本国特許庁(ISA/JP) 郵便番号100-8915 | 出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論 | | | | |
| 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する 文献(理由を付す) 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献 「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願 国際調査を完了した日 国際調査機関の名称及びあて先 日本国特許庁(ISA/JP) 郵便番号100-8915 | 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日 の理解のために引用するもの | | | | |
| 日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する 文献 (理由を付す) 「O」ロ頭による開示、使用、展示等に言及する文献 「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願 「&」同一パテントファミリー文献 国際調査を完了した日 1 2 0 9 0 1 国際調査機関の名称及びあて先 日本国特許庁 (ISA/JP) 郵便番号100-8915 | 「「」 優先統主張に騒姦を提起する文献又は他の文献の発行 の新規性又は進歩性がないと考えられるもの | | | | |
| 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献 | 日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以 | | | | |
| 「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願 「&」同一パテントファミリー文献 国際調査を完了した日 | 「O」ロ頭による開示、使用、展示等に言及する文献 よって進歩性がないと考えられるもの | | | | |
| 12.09.01 国際調査機関の名称及びあて先 日本国特許庁(ISA/JP) 郵便番号100-8915 | 「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願 「&」同一パテントファミリー文献 | | | | |
| 12.09.01 国際調査機関の名称及びあて先 日本国特許庁(ISA/JP) 郵便番号100-8915 | 国際調査を完了した日 | 国際調査報告の発送日 25.09 | 9.01 | | |
| 日本国特許庁 (ISA/JP) | 12.09.01 | | | | |
| 日本国特許庁 (ISA/JP) | 国際調査機関の名称及びあて先 | | 5 J 9 0 6 8 | | |
| | 日本国特許庁(ISA/JP) | 深沢 正志 (お) | | | |
| | | 電話番号 03-3581-1101 | 内線 3534 | | |